



学校目標 ふるさを愛し、共に学び、心豊かにたくましく生きる「仁比山っ子」の育成

ここに笑顔であいさつ いっしょうけんめい無言で掃除をする やさしさいっぱいなかよくする子
まめにこつこつ勉強する子 ◎ ところと体をきたえ 進んで運動する子

性に関する指導(6年生)

7月14日(水)佐賀県警生活安全部少年サポートセンター 小杉様に、「性に関する指導」をしていただきました。この中で、「プライベートゾーンを簡単に見せたり触らせたりしてはいけない」「写真を撮るとき、SNSにあげるとき、プライバシーを守る」(例:本名、電柱の住所、車のナンバー、顔、まわりの建物、ピースの指紋などから個人情報がわかる)、そのほか、LINEなどSNSで事件となった事例を基に話していただきました。



全国的にSNSでの性に関する事件や事案が増えています。そのような中で「ネットで知り合った人と安易に会わない」「プライベートゾーンの写真など、撮らない、撮らせない、送らない」など指導していただきました。携帯やスマホ、ゲーム機、タブレットなどで、子どもたちがどのようなことをしているのか把握し、犯罪から守れるように指導していかなければいけません。学校の指導だけでなく、ご家庭でもしっかりと話をしてください。よろしくお願いします。

(裏面:少年サポートセンター パンフレット)

大豆博士になろう～大豆の種まき～



R3. 6. 30
JA 安武様の講義
「大豆について知ろう」

梅雨も明け、7月15日(木)1時間目、5年生は「大豆の種まき」ができました。これまで5年生は総合的な学習で「大豆について調べよう」で、自分で調べたり、JAの方から大豆の種類や大豆からどのような食品ができるのかについて話を聞いたりして学習してきました。その後、この「大豆を育てよう」の内容に入りました。この学習は、「大豆について調べたことを発表しよう」⇒「収穫しよう」⇒「みそ作りをしよう」と進めていきます。これまで、種まきができるように、草取りなど畑の準備や畝づくり等を右原



地区の中原様がしてくださいました。(種まきは、仁比山駐在所の佐々木様もお手伝いしていただきました)ありがとうございました。



少年サポートセンターとは？

少年サポートセンターは、問題行動の原因を探り、その子供や問題に合った指導方法を、専門家である少年補導職員等と一緒に考えるところです。子供や保護者に限らず、学校の先生、地域の皆さん方など誰でも相談できます。
(個人情報等の秘密は絶対に厳守します。)

一人で悩まないで!

少年サポートセンターのまき



きっと方法が見つかる!

話してみようよ

- ① 少年非行・暴走族
- ② シンナーなど薬物事犯
- ③ 性被害
- ④ いじめ・虐待
- ⑤ 家庭・友達
- ⑥ 校内暴力・家庭内暴力

ふかく なやむな
0120-29-7867
平日 8:30~17:15



少年サポートセンター

あなたの笑顔が見たいから

少年問題に関する悩みを話してみませんか
解決の第一歩はあなたの勇気から
佐賀県警察

1. 少年相談活動

電話や面接により、子供の非行、被害、学校問題など、少年に関する悩みや困りごとに関する相談を受け、問題の解決に取り組んでいます。

相談事例1

出会い系サイトで知り合った男性に遊び心で会いました。すると、その男性からエッチなことをされ、その後、電話が何度もかかってくるようになり、「会わないと親に話すと、学校にも話すと脅されました。誰にも話せず苦しみました。【女性の少年補導職員が寄り添って話を聴き、犯人を逮捕したあと心のケアを続けています】

2. 継続補導・支援活動



問題行動を繰り返す子供への補導、犯罪被害を受けた子供に継続的に面接を行い心のケアを行っています。

3. 街頭補導活動

駅、ゲームセンター等を巡回して、不良行為を見つけた場合は、子供たちを指導し、又は保護者の方へ連絡・助言をしています。



「少年補導職員」とは

少年の立ち直り等に関する知識や技術をもった専門職員です。



少年サポートセンター

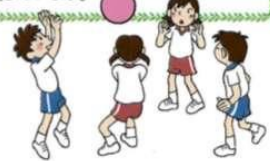
関係機関との連携

学校やボランティア等、地域みなさんと連携を図って活動します。



4. 居場所づくり活動

子供たちのコミュニケーション能力を高め、また、達成感や思いやりの心を育てるために、大学生ボランティアと一緒に料理・お菓子作り、軽スポーツ交流や社会奉仕活動等を行い少年の立ち直りを支援しています。



5. 広報啓発活動

学校における非行防止・薬物乱用防止教室、「いじめ・自殺防止」講話や少年の非行防止・青少年健全育成を目的とした講演活動を行っています。

